

■刈羽村に対する質問（11月1日受付分）

避難計画に関して

1. 柏崎市の説明では2km圏で、市が620人、刈羽1,120人の住民が居住しているとのこと。
刈羽の避難計画の周知徹底はどうなっているのか。ほとんど説明がなされていないのではないかと。
刈羽村から、次回に説明して欲しい。
2. 避難計画の関係住民に対する周知はどうするのか。どのような手段で了解を得るのか。
3. 自然災害と異なる原発事故対策の避難計画に、絶対安全と宣伝され騙されたという印象を持つ者は少なくない。住民にこうした不安を強いる根拠を聞きたい。

■東京電力に対する質問（11月1日受付分）

1. 遠距離送電に関する送電ロスの再質問
 - 50万ボルト送電線に100万kw原発が送電すれば電流では2Aか？
その場合100km当たり0.44%のロスとの説明は、あまりにも小さな電流での説明でないのか。
柏崎原発は820万kwで50万ボルト送電、電流は4倍に相当するのではないかと。
柏崎の場合、都心まで250km程度か。柏崎は、どれだけの損失になっているのか。
それでも、一説では柏崎ですら3%がロスとのこと。10%とも聞くがどうか。
 - 送電ロスは距離に比例し、電流の二乗に比例するはず（これは物理法則）ではないか。電流を小さくした説明は無意味ではないのか。
故意に遠距離送電のロスを小さく印象づける東電体質でないのか。
柏崎の実績や、福島の実績で説明すべきでないのか。
柏崎や福島は都心まで250km程か、それが+450kmとか+500kmならば、距離で3倍。ならばロスは、柏崎や福島の3倍と理解して良いのか。
11.1の回答・説明は「素人は質問するな。東電に白紙委任せよ」との趣旨か再度質問する。
2. 原発は、近傍住民に自然災害に加えて原発災害の避難の不安を強いる事になるわけだが、東電は住民の不安の代償をどのように償うのか。